

■建設課

課長 中居 松男 22	課内総括、工事企画・審査・検査、水道企業団市浦事業所総括	
土木係	係長 一戸 俊一 24	土木全般、農業農村整備、港湾、都市計画、ほ場整備、道路台帳
	主事 佐藤 勝秀 24	公営住宅、漁港、農業施設災害復旧
建設係	係長 山田 達二 23	水道、河川・砂防、海岸、公共施設災害復旧、漁業集落排水整備、国県道
	主査 近藤 昌浩 23	道路の維持・管理、除排雪、建設機械、道路補助事業
	主事 白川 幸徳 23	道路の維持・管理、除排雪、建設機械、道路補助事業
主幹 秋元 取	(津軽広域水道企業団派遣)	
主事 石岡 和人 24	(津軽広域水道企業団派遣) 市浦事業所	
主事補 三和 大純 24	(津軽広域水道企業団派遣) 市浦事業所	

■出納室

室長 嶋海 文保 66	出納事務総括
主任主査 山崎 良子 65	出納事務
臨時 宮川 恵美子 65	出納事務補助

■教育委員会

☎62-3751

教育次長 白川 隆治	会議運営、教育財産管理、公印管守、学校教育指導	
学務係	主事 小寺 裕子	学校職員研修、学校給食・検計、就学指導委員会
	英語指導助手 ジュレミー・クレーン	英語指導
生涯学習係	係長 三浦 美智男	社会教育、社会教育団体の育成・指導、ふるさとまつり、コミュニティセンター
	主任主査 葛西 達也	公民館、海洋センター、体育協会の育成
	主事 嶋海 忠	スポーツ教室・講習会、山村広場、スキー場
	派遣主事 木下 靖英	少年・青年・婦人教育、生涯学習の推進施策
社会教育指導員 鳳至 幹夫	教育相談、高齢者教育、世代間交流	

■経済観光課

課長 成田 義正 25	課内総括、農林水産業・商工観光の振興、各種委員会・協議会、育成センター管理	
農林水産係	課長補佐 長利 勝雄 27	農業農村活性化対策、畑作、野菜の振興、水産振興、さけ・ます増殖振興、水産団体
	係長 斎藤 修一 27	稲作振興、水田営農活性化対策、農業団体、林業
	技師 嶋海 務 28	畜産振興、畜産団体、粗飼料生産
	主査 白川 敏文 29	水田営農活性化対策互助会、米穀流通、農業担い手育成、生活改善センター、基幹集落センター
商工観光係	係長 本荘 博 29	商工業、商工団体、都市と山村交流促進、リゾート
	主事 小寺 昭直 29	観光団体、観光施設の管理運営、観光資源開発宣伝、度量衡

■農業委員会

事務局長 三和 徳衛 26	農業委員会事務、農業者年金、農家台帳
------------------	--------------------

■育成センター

☎62-2849

運転手 三浦 儀照 成田 勲 岡本 隆雄	機械化作業、維持
嘱託員 下沢 徳二	畜産技術指導

■中の島ブリッジパーク (活性化センター)
☎62-2775

所長(嘱託員) 本荘 勉	活性化センター総括
臨時 山田 つせ子	受付業務
臨時 奈良 和之	ロマネスクドーム業務
臨時 渡辺 敏昭 三上 美知子 榎野 茂子	公園管理、清掃業務



給食婦 相川 由紀子	太田小学校給食
給食婦 工藤 啓子	脇元小学校給食
給食婦 渡辺 ゆき子	十三小学校給食
給食婦 三上 葉子 三上 キヨエ	市浦中学校給食

■歴史民族資料館

☎62-2775

館長(嘱託員) 葛西 安十郎	資料館管理、運営
-------------------	----------



安東の里振興室長 古川 徹		文化財保護、村史編纂委員会、遺跡整備検討委員会、芸術文化芸能の振興
文化財係	学芸員 榊原 滋高	文化財の調査・研究・保護
用務員 三和 チヨエ		教育委員会用務
用務員 工藤 良子		相内小学校用務
臨時 奈良 サツ		太田小学校用務
用務員 山田 いつ		脇元小学校用務
臨時 成田 勝由		十三小学校用務
用務員 豊島 サチ		市浦中学校用務
用務員 榊引 智恵		金木高相内分校用務
給食婦 柏谷 マツエ		相内小学校給食
臨時 三和 テツ		相内小学校給食

人事異動

()内は旧所属

〔課長級〕

▼議会議務局長(産業振興課長)
松江幸勝▼企画財政課課長(住民福祉課長 桑野邦夫)▼住民福祉課長(住民福祉課副参事) 三和省勝▼経済観光課長(企画観光課副参事) 成田義正▼教育委員会安東の里振興室長 議会議務局長 古川徹

〔課長補佐級〕

▼住民福祉課長補佐(企画観光課広報企画係長 浜田和幸)▼経済観光課長補佐(産業振興課長補佐) 長利勝雄▼企画財政課主幹兼企画広係係長(建設課調整係長) 竹谷裕治

〔係長級〕

▼総務課資産税係係長(教育委員会学務係係長 奈良孝博)▼企画財政課財政係長(総務課財政係長) 鎌田和廣▼住民福祉課健康管理係長(住民福祉課国民健康保険係長) 高田正嗣▼経済観光課農林水産係長(産業振興課農林水産係長 斎藤修一)▼同商工観光係長(企画観光課商工観光係長) 本莊博▼建設課土木係長(建設課建設係長 戸俊一)▼同建設課(総務課資産税係長) 山田

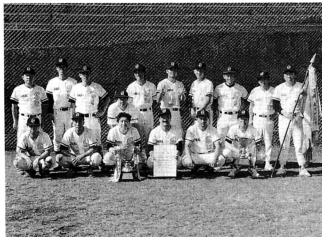
〔一般職員〕

▼総務課総務係主任主査(出納室出納係主任主査) 岡本雪子▼企画財政課企画広報係主査(総務課財政係主査) 有馬毅▼同財政係主事補(企画観光課広報係主事補) 丁子谷充▼住民福祉課健康管理係主査(住民福祉課国民健康保険係主査) 榊引松三▼同民生係主事(総務課総務係主事) 柏谷哲治▼経済観光課農林水産係技師(産業振興課畜産係技師) 鳴海務▼同主査同主事(白川敏文)▼同商工観光係主事(企画観光課商工観光係主事) 小寺昭直▼建設課建設係主査(建設課調整係主事) 近藤昌浩▼同主事(教育委員会社会教育係主事) 白川幸徳▼同土木係主事(建設課建設係主事) 佐藤勝秀▼出納室出納係主任主査(産業振興課農林水産係主任主査) 山崎良子▼教育委員会安東の里振興室文化財係学芸員(教育委員会社会教育係学芸員) 榊原滋高▼教育委員会社会教育係主事(産業振興課農委員会係主事) 鳴海忠

お見事!! 県制覇

市浦村商工会野球部 市浦村役場野球部

球児たちの熱い夏の甲子園も幕を閉じましたが、村でも今年には野球に燃えた夏となりました。商工会野球部と役場野球部が、県制覇という快挙をとげたのであります。



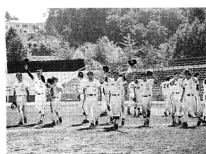
勢い止まらず!

商工会野球部は六月十八日、金木町で開かれた郡大会において、鶴田町、中里町を破り決勝に進出。決勝では、小泊村を下手に苦戦したものの三対一で下し、県大会出場のカップを手に入れました。

七月十一、十二日に南郡平賀町、尾上町で開催された県大会においてもチームの勢いは止まらず、過去に何度も優勝経験を持つ強豪三沢市に快勝すると、決勝でも川内町に競り勝ち、第二十九回青森県商工会野球大会

大接戦を制す!

役場野球部も商工会野球部に続けとばかりに七月二十六、二



歓喜に沸く役場野球部ライン

の栄冠を手中に収めました。

優勝した山田博伸監督(脇元)は、「来年も今年の勢いをそのままつなげ、ぜひ、二年連続制覇を成し遂げたい」と語っています。

なお、県大会での主な結果は次のとおりです。

- ▼二回戦 対蟹田町 棄権勝 対蟹田町
- 6-1-3 準決勝
- 6-1-3 対三沢市

市浦村

0 1 0 2 0 0 0 0 3
0 0 2 0 0 0 0 0 2

川内町

(市)三和、島津、伊藤

(個人賞)

最優秀選手賞 三和 大純(相内)

敢闘賞 成田 武司(相内)

優秀監督賞 山田博伸(脇元)



優勝報告に来た成田武司さん

浦村の健闘ぶりに大きな拍手を送っていました。

なお、県大会での主な結果は次のとおりです。

- ▼二回戦 4-1-3 対上北町
- ▼準決勝 6-1-2 対木造消防事務組合

▼決勝 対野沢村

0 2 1 2 0 0 0 0 5
4 0 0 0 0 0 1 1 x 6

市浦村 (市)鎌田、大沢 十三和 (延長八回)

(個人賞)

最優秀選手賞 大沢 大徳(十三)

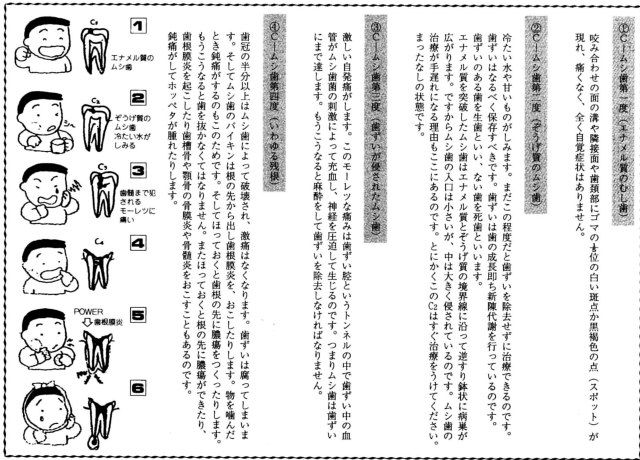
ムシ歯の製造工程と予防へのストップ!!

みんなの 診療室

5

健康的な歯を保つために ④

ワンポイントアドバイス



後三年の戦

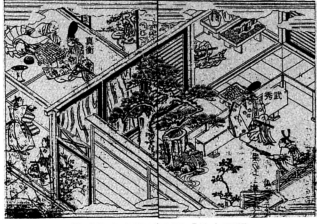
▶64◀

手島徳光

(1)

再び戦乱

約十二年間にわたった前九年合戦は、
厨川桶の戦いを最後に幕を閉じました。
わが安倍・安藤(奥)氏の先祖といわれる
奥州安倍氏の没落でありました。康平
五年(一〇六二)のことでした。



秀武黄金を捧げる図「前太平記」

朝廷から大功を認められた清原武則は、従五位下の官位に叙せられ、鎮守府將軍に補任され、安倍頼時の全所領を頂戴し、六部の押領使となったのです。出羽・山北の俘囚長からの大抜擢の立身出世でした。そして、胆沢郡白鳥村に居館し、奥六部の治政に当たりました。白鳥村はその所在をはっきりさせることができませんが、現岩手県胆沢郡前沢町に含まれています。

それから二十数年間奥羽二州には平穏な風が吹き続けていました。武則、その子武貞、その孫真衡の時代と移っていました。武則の吉彦秀武の妻となっていました。真衡は嫡子武貞の子息で清原家の惣領息子です。威勢父祖に過ぎ、奥羽二州の一族、皆、其下風に立つ」と文献に記されています。一族を従卒のように取扱ったということですが、清衡と家衡・武衡は異父兄弟でしたが、真衡とは別して軽視されて育ちます。特に清衡は家衡・武衡からも侮蔑されて育てられ、一族互いに反目のうちに成育

破綻の経緯

遂に一族の内輪揉めが爆発しました。真衡には子がなかったため、平極守安忠の子成衡を養子としていましたが、水保三年(一一〇八三)に源頼義の娘を成衡の嫁に迎えることになりました。この娘は多氣権守致幹の娘と頼義との間に出来た女です。

真衡は一族臣下に命じて、新婦を饗応するために、金や織物その他を贈与するように孫真衡の時代に清原家から大暴風が巻き起こって奥州は再び戦乱の増地と化したのです。戦乱は三年間続いたので、「前九年合戦」に対して「後三年の役」または「後三年合戦」と呼ばれています。

清原氏の家系

この戦乱の原因は清原一族の内輪揉めに端を発しています。武則の家系の複雑さから起こります。武則には六男一女がありました。先妻の子に武貞・

武忠・武道・後妻つまり安倍頼時の娘有加一の前の連れ子清衡(藤原経済の子)と武衡・家衡の六男です。一女はおそらく先妻の娘で、「前九年合戦」で一陣の将と強要します。奥羽二州の豪族たちは統々と財宝を積んでお祝いに参りました。姑夫の吉彦秀武も黄金や酒饌を積んでお祝いに老体ながら遠く出羽から馳せ参りました。そして、朱の盤に黄金を堆く積んで自ら持って庭上に歩み出で、雨打ちに跳いて高く頭の上に捧げて真衡の受け取るのを待っていました。

ちょうど真衡は、五条の君という奈良法師と開基を打って熱中のあまり、秀武の参上に気がつかずいました。久しく時がたつても一向に気をつけずにいましたので、さすが千軍万馬の勇者秀武も老いの身には勝たれず次第に疲れて力もつき腕も疼え苦しくなっています。遂に苦しさで怒りに変じて堪え切れなくなりまして、駭子、何ぞぞ(無礼なる)この小わっぱ、何たる無礼ぞ」と大声で叫び、盤上の黄金を地に投げ棄て、酒饌を従卒に与えて出羽に馳せ帰りました。そして、拳兵の準備をして真衡に報くことになりました。真衡もこの吉彦秀武の行動を聞いて怒り、秀武謀反の命令を発動することになったのです。写真は秀武が黄金を真衡に捧げている図です。



情報をお寄せください

あしらせ

役場の電話は62-2111

"NHK青春メッセージ" 出場者募集

NHKでは、毎年恒例の「NHK青春メッセージ」の出場を募集しています。

テーマは自由で、参加資格は性別、職業、学歴、国籍を問わず、昭和45年1月16日から昭和55年4月1日までに生まれた方です。

自分のメッセージを4分30秒以内で発表し終わるように、原稿用紙(400字詰め・3枚半程度)にまとめるか、カセットテープに録音してお送りください。

▶しめきり

平成7年9月30日(土)

▶送り先

〒030 青森市松原2-1-1
NHK青森放送局放送部
☎0177(74)5114

パスポート窓口が
県内6ヶ所になります

8月21日からパスポート取扱窓口が3ヶ所新設され、県内6ヶ所になります。

▶新設窓口(県合同庁舎内)

- ① 五所川原窓口
五所川原市栄町10
☎0173-33-4622
- ② 十和田窓口
十和田市西十二番町20-12
☎0176-23-3838
- ③ むつ窓口
むつ市中央1丁目1-8
☎0175-22-3945

▶既設窓口

- ① 県庁窓口
青森市長島1丁目1-1
☎0177-77-4499
- ② 弘前窓口
弘前市蔵主町4
県合同庁舎内
☎0172-34-6009
- ③ 八戸窓口
八戸市尻内字鴨田7
県合同庁舎内
☎0178-27-0692

▶開設時間

8時30分～16時45分

▶問い合わせ先

青森県企画部国際交流課旅券窓口
(☎0177-77-4499) 又は、役場住民福祉課住民サービス係まで。

"行方不明の人をさがす
相談所" 開設中

全国の各警察署には「行方不明の人をさがす相談所」が、8月中旬開設されています。

あなたの身内や近所に次のような方がおりましたら、ぜひ相談所をご利用の上、身元確認にご協力願います。

- 病気を苦にして家出した。
- 突然居なくなり、自殺でしているのではないか。
- 出稼ぎに行き、途中から音信が途絶えた。

など、ささいなことでも構いませんので、心あたりのある方は相談所の利用にご協力ください。

詳しいことは、相内駐在所(☎62-2219)までお気軽にどうぞ。

特別保証制度のごあんない

村では、地域中小企業者の経営の安定と発展のために必要な事業資金について、青森県信用保証協会と協働して次のような特別保証制度を実施しています。大いにご利用下さい。

▶簡易小口資金

保証金額 500万円
保証期間 5年以内
利息 5.50%以内(年利)
保証料 0.85%(年利)

▶問い合わせ先

市浦村の人口と世帯数

平成7.8.1現在

大字名	前月人口	人口	世帯数
相内	1,313	1,315	413
桂川	76	78	23
太田	293	293	92
脇元	572	573	204
磯松	329	328	114
渡三	812	811	251
計	3,395	3,398	1,097

青森県信用保証協会五所川原支所(☎35-4121)又は役場経済観光課商工観光係まで。

国の教育ローン3.65%に

高校や大学、専修学校、各種学校などの入学者や在学者は、国民金融公庫の「国の教育ローン」を利用することができます。貸付利率も7月10日から3.65%に引き下げられました。制度の概用は次のとおりです。

- ▶ご融資限度額
お一人につき150万円以内
- ▶ご返済期間
8年以内
- ▶ご返済方法
元利均等毎月払
- ▶利率
年3.65%(7月10日現在)
- ▶問い合わせ先
国民金融公庫 弘前支店
☎0172-36-6303

国勢調査にご協力を

10月1日(日)、全国一斉に国勢調査が行われます。国勢調査は大正9年から5年ごとに行われ、今回で16回目。日本に住んでいるすべての方が対象となります。

9月下旬から調査員が、みなさんのお宅に伺いますので、ご協力をお願いします。



国勢調査

平成7年10月1日

総務庁統計局 青森県市浦村

県内の交通事故概況

青森県交通対策協議会

	7月	累計		
発生	716 (732)	4,516 (4,442)	死者のうち	高齢者の死者
死者	11 (8)	77 (65)		15 (17)
傷者	849 (892)	5,501 (5,520)		飲酒運転による死者
			シ	12 (10)
			レ	着用義務者
			ベ	42 (34)
			ル	(着けなければならぬ人)
			ト	34 (27)
				(着けていなかった人)
				16 (6)
				助けていれば 助かったと思われる人

()内は前年。累計は1月から。

健康への道

No. 94

最近の暑さ、困りますね。正に夏到来がといった感じになりました。

この時期は、おフロ上りに野球を見ながら、冷たいビールが一番おいしい季節ではないでしょうか。

ある人は、「お酒」を「百薬の長」といい、またある人は「万病のもと」といっています。

せっかく「お酒」を飲むのなら、楽しく「百薬の長」となっ

てほしいのです。そこで、今回は「お酒」と上手に付き合う方法について考えてみます。

◆適量の飲酒の効果

適量の飲酒は、アルコールによる軽い麻酔作用が働いてストレスが解消され、気分転換になるという精神的効用と、アルコールの刺激によって胃の働きが活発となり、食欲の亢進に絶大な効果があります。また他にも、

適性飲酒で快適な生活を!

人と人との融和や親睦にはきめんの効果をもたらすという、はかり知れない役割を担っているのです。

◆酒の害

お酒は一方で、万病のもとといわれるくらい、恐い問題ももっています。過度の飲酒が長びくと胃腸障害、肝臓病、肥満と糖尿病、心臓病、アルコール依存症といった病気を引き起こす直接の原因になります。※特に、最近ではアルコールによる肝障害が増えています。



それでは、効果にお酒を飲むためにはどうすればいいのでしょうか。

◆お酒と上手につきあうための大事なポイント

- 1、楽しく飲む。
- 2、自分のペースでゆっくりと。
- 3、アルコールは、飲む速度を早めると、血液中のアルコール濃

度も急速に高くなり、早く酔いやすくなります。気をつけて飲みましょう。

3、食べながら飲む習慣を、蛋白質や脂質を含んだ食物を食べながら飲むのが一番です。ぜひ食べながら飲む習慣を!

4、お酒は自分の適量を! 平均的に清酒なら二〜三合、ビール大瓶なら二〜三本、ウイスキーダブなら二〜三杯程度が適量程度の目安です。

5、週に二回は休肝日を! 6、他の人に酒の無理強いをしない。

7、薬と一緒に飲まない。

薬とお酒の相互作用で、薬の作用が強くなり、とても危険な状態になる事があります。強いアルコール飲料は薄めて飲むのもう。

9、遅くとも夜12時で終わりにするように!

仕事が終わった後飲むお酒は気持ちの良いものです。しかし、2軒、3軒目とハシゴするにつれ、アルコール量は適量を超え、二日酔いの原因ともなります。10、肝臓などの検査は定期的に。大量の飲酒を長い間続ければ、

ると、肝臓等に大きな負担をかけていることとなります。自分のアルコール量が適量であるかを知るためにも検査を受けましょう。

自分の限度を知り、ほどほどにお酒を飲むことが大切です。お酒と上手につきあい、より楽しい時間を過ごしましょう。



▽お誕生

大澤 基歩 (桂川 兼義)
工藤 基一 (相内 清朗)
柏谷 都人 (相内 清彦)
工藤 俊貴 (相内 時雄)
三和 諒介 (相内 輝男)
三和 聖 (相内 得路)
丸山 耕史 (太田 正喜)
工藤 武 (藤元 広)

▽ご結婚

白川 清人 (相内)
三浦 啓子 (千和田)
奥崎 和彦 (青森)
湯浅 明子 (三)

▽おくやみ

川井 裕子 (青森)
今西 桂子 (木造)
葛西 豊 (木造)
矢嶋 早苗 (神戶)
種村 直樹 (十三)
伏見 利春 (十三)
福引 麻子 (元)
橋引 敏光 (韓国)
横山 裕子 (岩手)
古久保 朴 (松)
山上 弘 (青森)
佐藤 理英子 (三造)
工藤 美仁子 (三造)
小山 知之 (元)



こちら編集室

七月一日の人事異動で、今月号から広報の担当が代わりました。村民のみなさんに、親しみのある広報づくりを目指してがんばります。みなさんからのご意見・情報をお待ちしております。